

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号戸田拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局						
起終点	自：山口県周南市戸田 至：山口県周南市戸田			延長	2.4 km						
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市を起点として瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>戸田拡幅は、周南市戸田地内の延長2.4km区間における現道2車線から4車線への拡幅事業である。</p>										
H15年度事業化	H16年度都市計画変更	H18年度用地着手	H19年度工事着手								
全体事業費	約81億円	事業進捗率 (H21年度末現在)	55%	供用済延長	0.0 km						
計画交通量	37,500~43,900台/日										
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (3便益) (事業全体) 1.4</td> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業)/ (事業全体) 32 / 93 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 4.0</td> <td> 事業費： 18/80 億円 維持管理費： 14/14 億円 </td> </tr> </table>	B/C (3便益) (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 32 / 93 億円	(残事業) 4.0	事業費： 18/80 億円 維持管理費： 14/14 億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業)/ (事業全体) 126 / 126 億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 平成22年</td> </tr> <tr> <td> 走行時間短縮便益： 121/121 億円 走行費用減少便益： 2.8/ 2.8 億円 交通事故減少便益： 2.7/ 2.7 億円 </td> <td></td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/ (事業全体) 126 / 126 億円	基準年 平成22年	走行時間短縮便益： 121/121 億円 走行費用減少便益： 2.8/ 2.8 億円 交通事故減少便益： 2.7/ 2.7 億円		
B/C (3便益) (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 32 / 93 億円										
(残事業) 4.0	事業費： 18/80 億円 維持管理費： 14/14 億円										
総便益 (残事業)/ (事業全体) 126 / 126 億円	基準年 平成22年										
走行時間短縮便益： 121/121 億円 走行費用減少便益： 2.8/ 2.8 億円 交通事故減少便益： 2.7/ 2.7 億円											
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>交通量変動： B/C= 5.0 (交通量+10%)</td> <td>B/C= 2.9 (交通量-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動： B/C= 3.8 (事業費+10%)</td> <td>B/C= 4.2 (事業費-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動： B/C= 3.9 (事業期間+20%)</td> <td>B/C= 4.1 (事業期間-20%)</td> </tr> </table>					交通量変動： B/C= 5.0 (交通量+10%)	B/C= 2.9 (交通量-10%)	事業費変動： B/C= 3.8 (事業費+10%)	B/C= 4.2 (事業費-10%)	事業期間変動： B/C= 3.9 (事業期間+20%)	B/C= 4.1 (事業期間-20%)
交通量変動： B/C= 5.0 (交通量+10%)	B/C= 2.9 (交通量-10%)										
事業費変動： B/C= 3.8 (事業費+10%)	B/C= 4.2 (事業費-10%)										
事業期間変動： B/C= 3.9 (事業期間+20%)	B/C= 4.1 (事業期間-20%)										
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損失時間の削減が見込まれる (12,245千人・時間/年⇒11,681千人・時間/年) <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる (防府市役所→徳山下松港：69分→58分) <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線の構築 (周南市～防府市) <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各プロジェクト、イベントの支援 (周南市西部道の駅基本計画) <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路として位置づけ (「山口県緊急輸送道路ネットワーク計画」 (H9.3) 第1次緊急輸送道路に指定 (国道2号)) ・ 緊急輸送道路通行止め時の代替路線の構築 (山陽自動車道) <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出削減量が約3.0千t/年 (約0.2%) 削減 (1,308.9千t/年⇒1,305.9千t/年) <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出削減量が約23.5t/年 (約0.4%) 削減 (6,190.9t/年⇒6,167.4t/年) ・ SPM排出削減量が約1.6t/年 (約0.3%) 削減 (494.0t/年⇒492.4t/年) <p>⑧環境への影響を考慮した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約3.0千t/年のCO2削減【1.75億円※】 ※供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値) <p>⑨通行止めを考慮した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山陽自動車道 (徳山西IC～防府東IC) 通行止め時の現道の混雑解消効果【0.16億円※】 ※供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値) 										

関係する地方公共団体等の意見

戸田拡幅は、交通渋滞の解消、沿線住民の安全性・利便性の向上及び円滑な救急活動の確保などが期待されることから、周南市・防府市などから早期整備の要望を受けている。

山口県知事の意見：

一般国道2号戸田拡幅の「対応方針（原案）」案に対して、異存ありません。

引き続き、早期供用に向け計画的に事業を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

- ・ 交通量は増加傾向であり、渋滞や交通事故が発生している。
- ・ 戸田拡幅区間の現道は2車線であり、経済活動や物流活動に支障をきたしている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

◇平成21年度末現在で、事業進捗率は55%であり、現在は工事を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、工事を行っており、平成23年度供用予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 交差点立体化、横断歩道橋の追加、軟弱地盤対策の追加、切土掘削の土質区分変更等による事業費増加【28億円のコスト増加】
- ・ 今後の事業実施にあたっては、効率的な事業推進に努める。

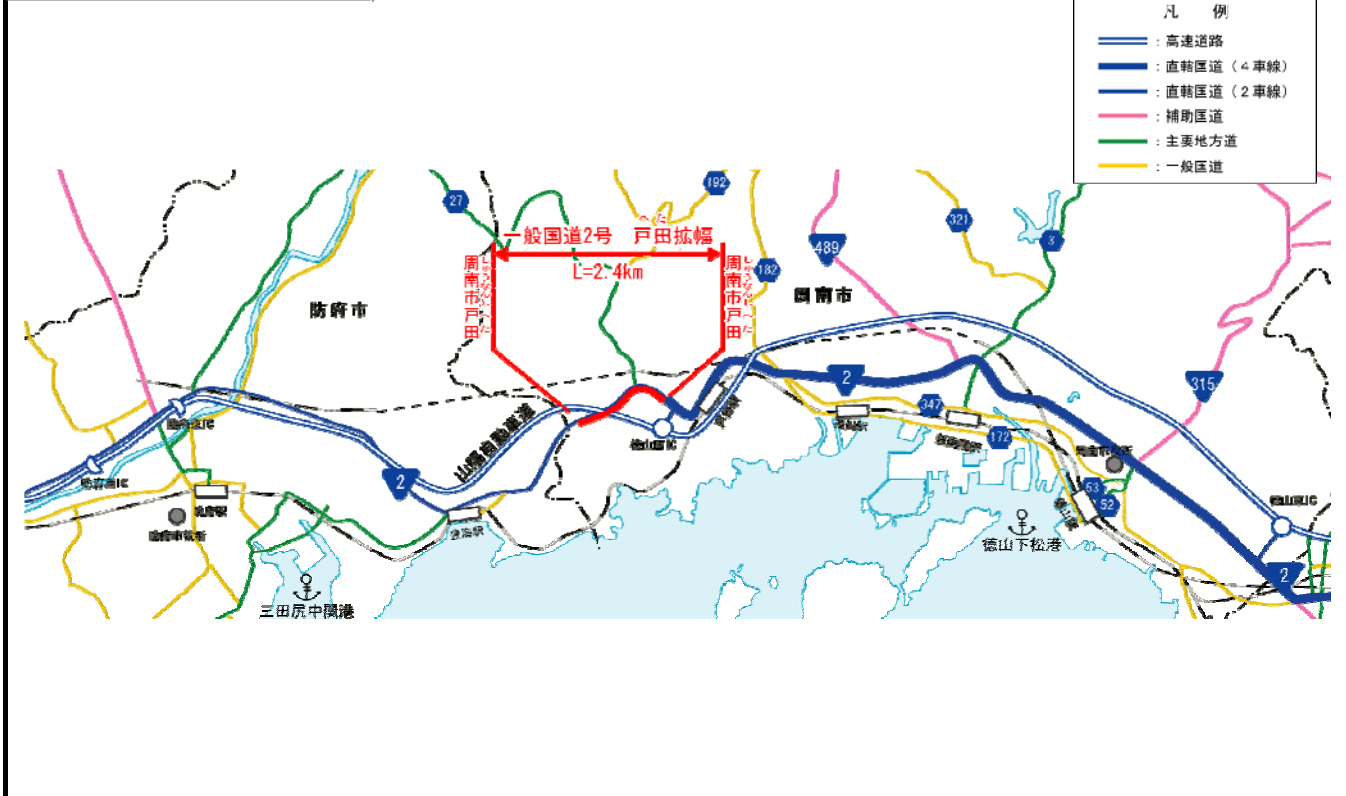
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

一般国道2号 へ た か く ふ く 戸田拡幅
事業再評価

平成23年1月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

•一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。

へたかくふく しゅうなんしへたちない

•戸田拡幅は、周南市戸田地内の延長2.4km区間における現道2車線から4車線への道路拡幅事業である。

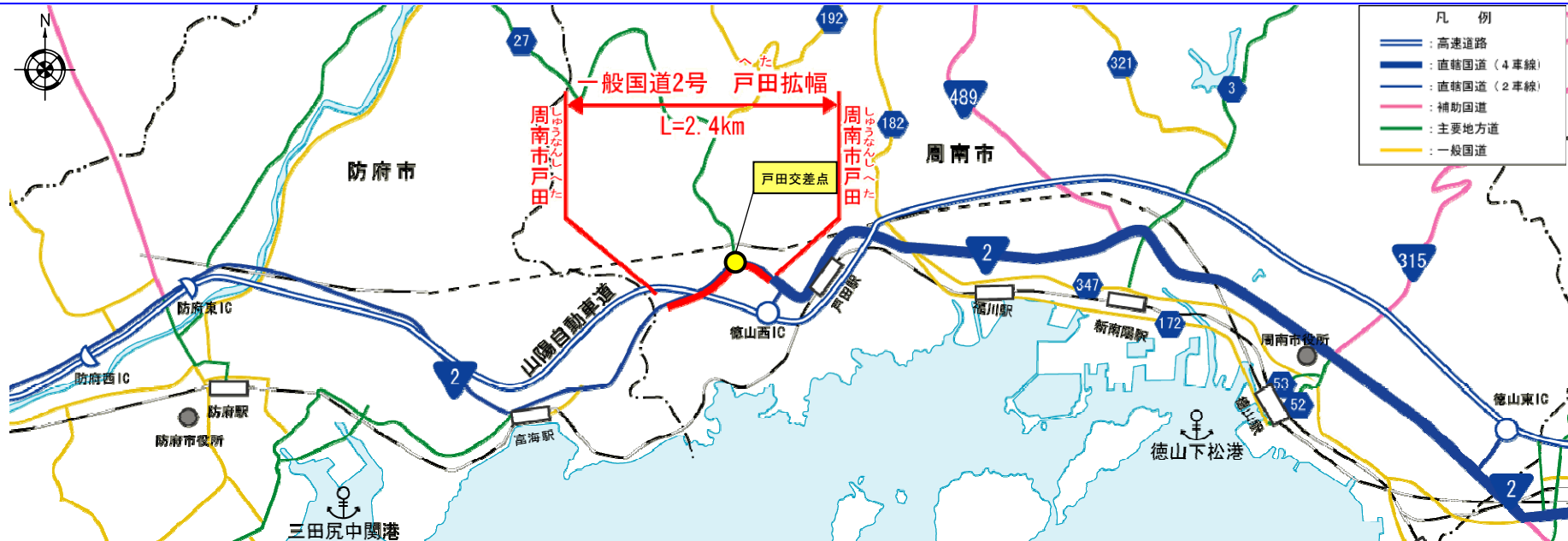


2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 戸田拡幅

(1) 事業概要

・戸田拡幅は、周南市戸田地内の交通混雑の緩和、交通安全の確保、交通基盤の強化及び物流の効率化等を目的とした4車線拡幅事業である。

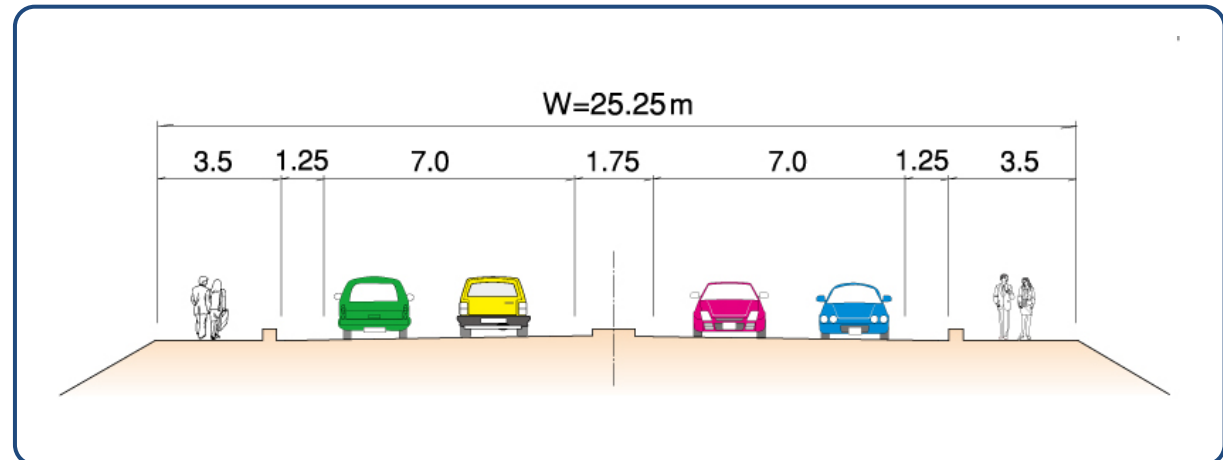


●：主要渋滞ポイント

計画概要

起終点	やまぐちけんしゅうなんし へ た 起点：山口県周南市戸田 やまぐちけんしゅうなんし へ た 終点：山口県周南市戸田
計画延長	L=2.4km
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
計画幅員	W=25.25m

標準断面図



2. 事業概要及び経緯 (2) 事業の経緯及び進捗状況

・戸田拡幅は、平成18年度に用地着手、平成19年度に工事着手している。



【広島側から下関方面を望む】



【広島側から下関方面を望む】

事業の経緯

事業化年度	平成15年度
都市計画変更	平成16年度
用地着手年度	平成18年度
工事着手年度	平成19年度

● : 主要渋滞ポイント

凡 例	
	高速道路
	直轄国道 (4車線)
	直轄国道 (2車線)
	補助国道
	主要地方道
	一般国道

事業全体の進捗状況(平成21年度末時点)

用 地	64%
工 事	47%
全 体	55%



【広島側から下関方面を望む】

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅



● : 主要渋滞ポイント

課題①: 国道2号で発生する渋滞

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒損失時間の削減、環境負荷の低減

課題②: 国道2号で多発する交通事故

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒交通事故件数の削減

課題③: 円滑なモビリティの確保

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒通勤・通学の定時性の確保

課題④: 物流ネットワークの形成

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行時間短縮による物流効率化の支援

課題⑤: 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒リダンダンシー機能の確保

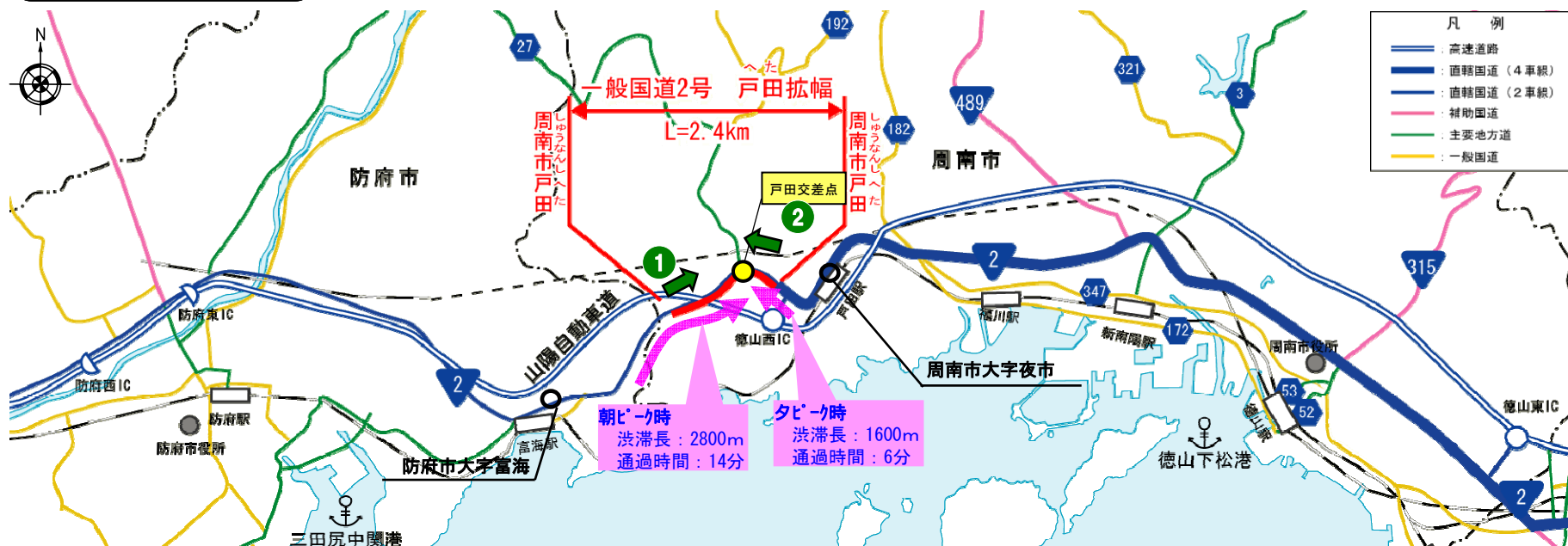
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅

課題① 国道2号で発生する渋滞

- ・国道2号の交通量は、約30,000～40,000台/日で推移しており、混雑が慢性化している。
- ・戸田拡幅区間は2車線区間であり、ボトルネックとなっているため、最大2800mの渋滞が発生。

国道2号の交通状況

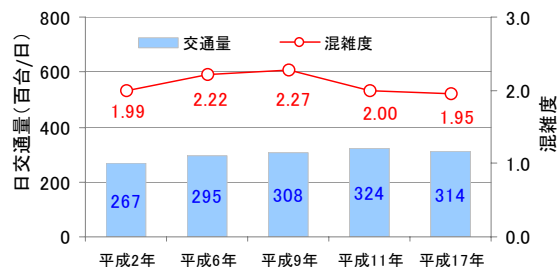


→ : 渋滞長 (H18.7調査)

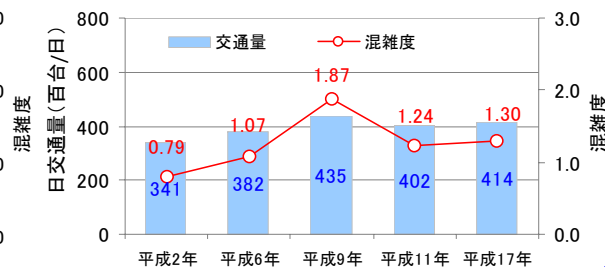
● : 主要渋滞ポイント

交通量の推移

防府市大字富海



周南市大字夜市



▲ 終点付近より広島方面を望む (朝ピーク)



▲ 広島側より戸田交差点付近を望む (夕ピーク)

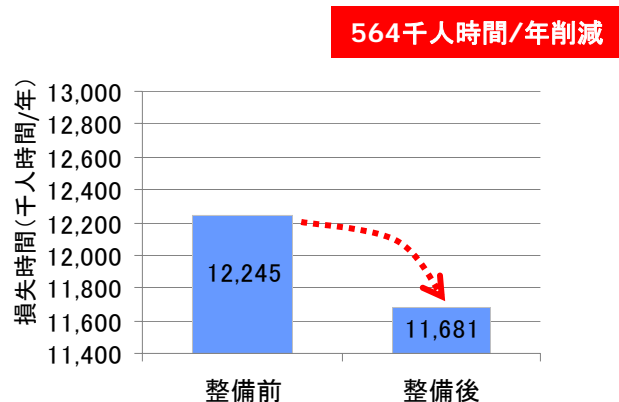
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅

<期待される道路の役割(効果)> 渋滞緩和と環境負荷の低減

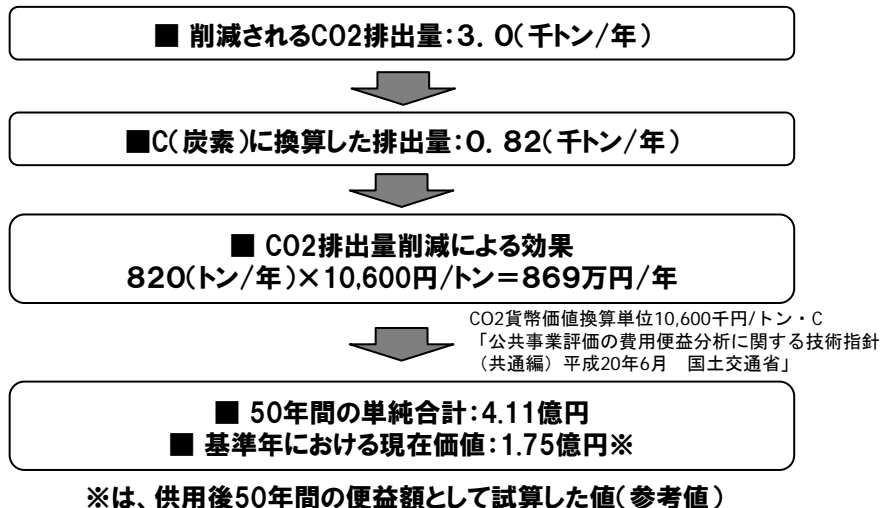
・戸田拡幅により、損失時間、沿道環境の改善が期待される。

損失時間の変化

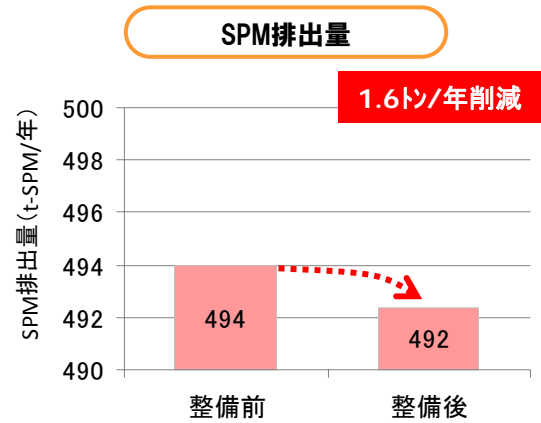
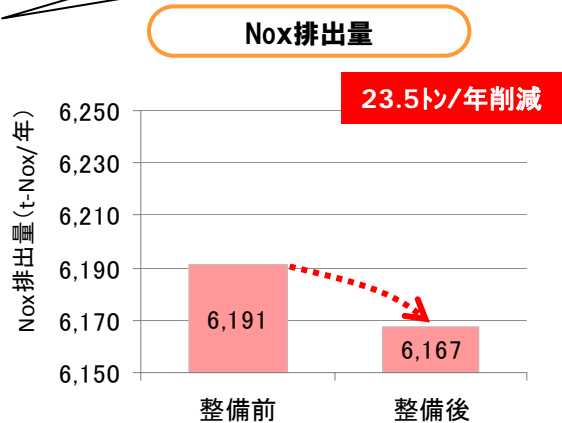
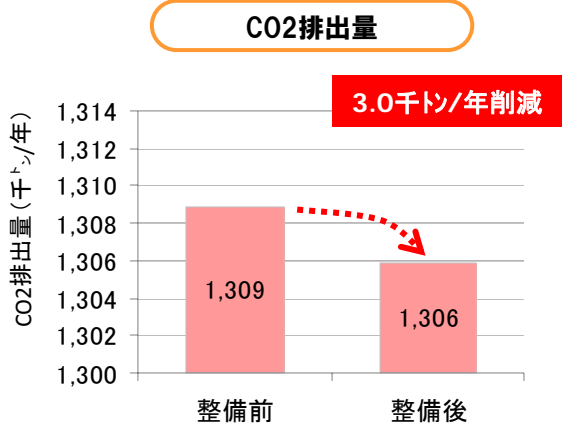


※各時点の交通配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※損失時間量算定式：客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）
 ※損失時間量算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

環境への影響を配慮した効果(試算した参考値)



CO2・NOx・SPMの低減



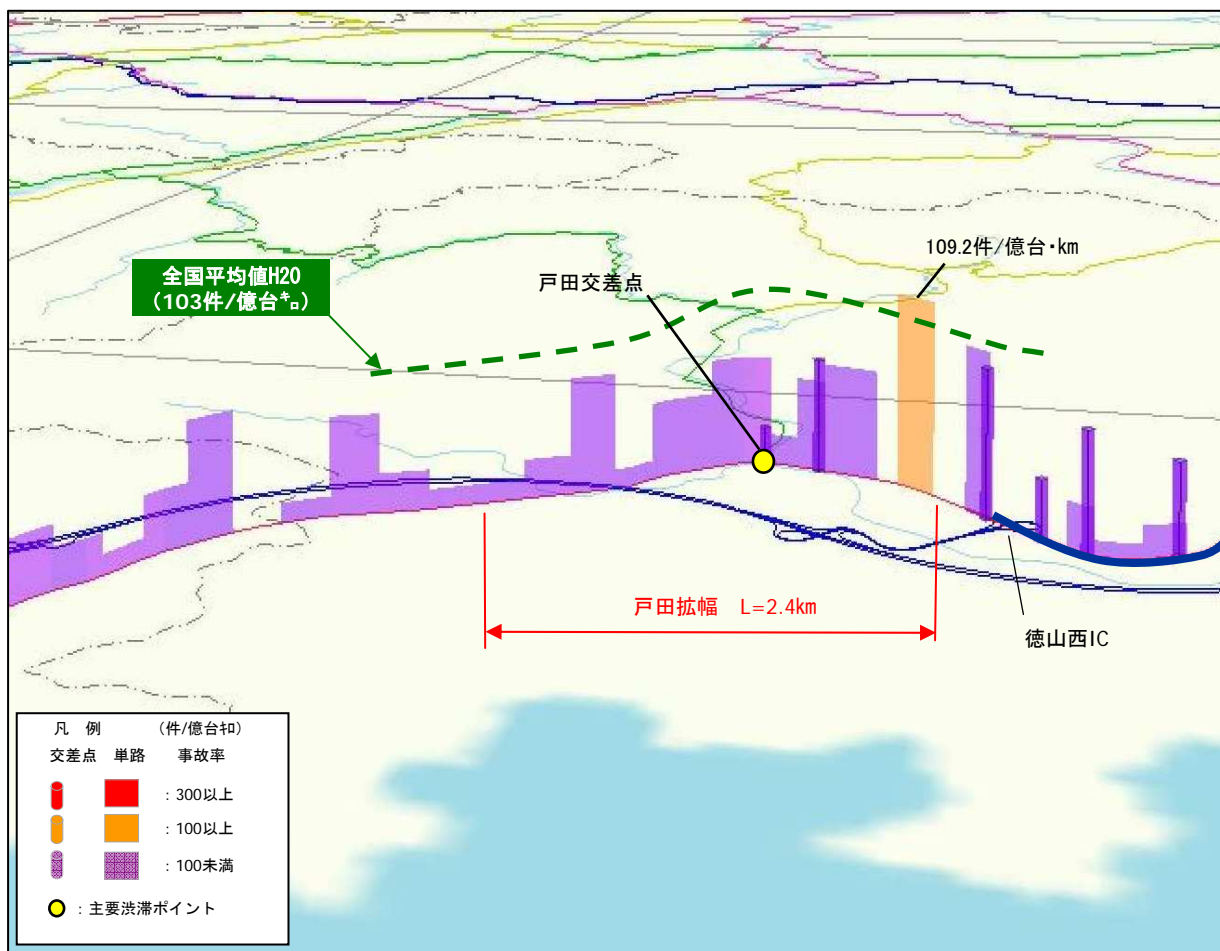
※各時点の交通配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※各排出量算定式：客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）
 ※各排出量算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題② 国道2号で多発する交通事故

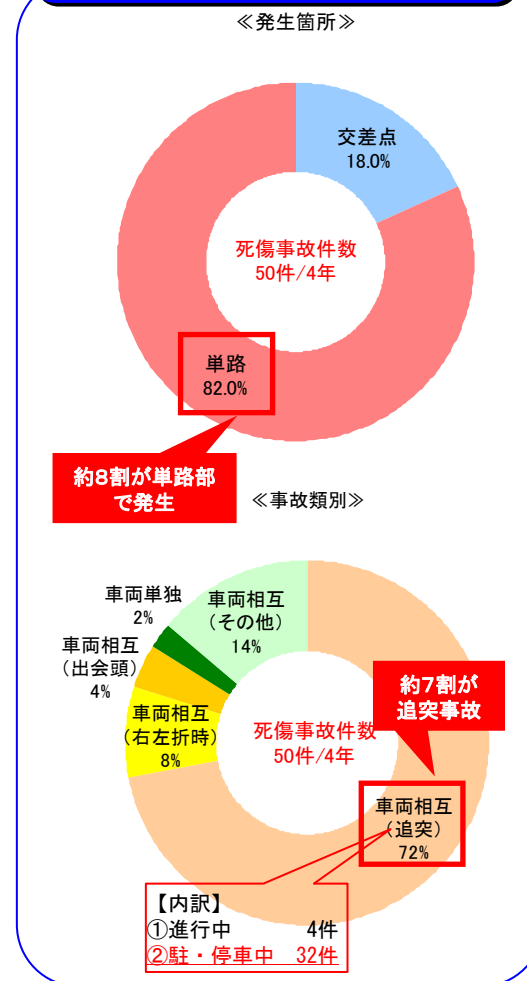
- 死傷事故は、単路部で約8割発生しており、渋滞に起因する追突事故の割合が全体の約7割を占める。
- 4車線から2車線へ移行する箇所において、高い死傷事故率を示している。
- 戸田拡幅により、死傷事故件数の削減が期待される。

◆事業対象区間の死傷事故率 (H17~H20)



資料 / H17~H20交通事故統合データベース

事業対象区間における死傷事故の特性



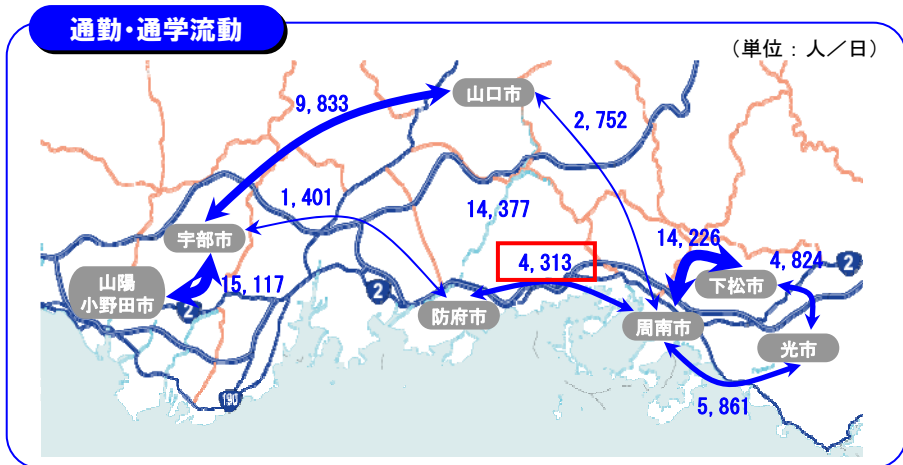
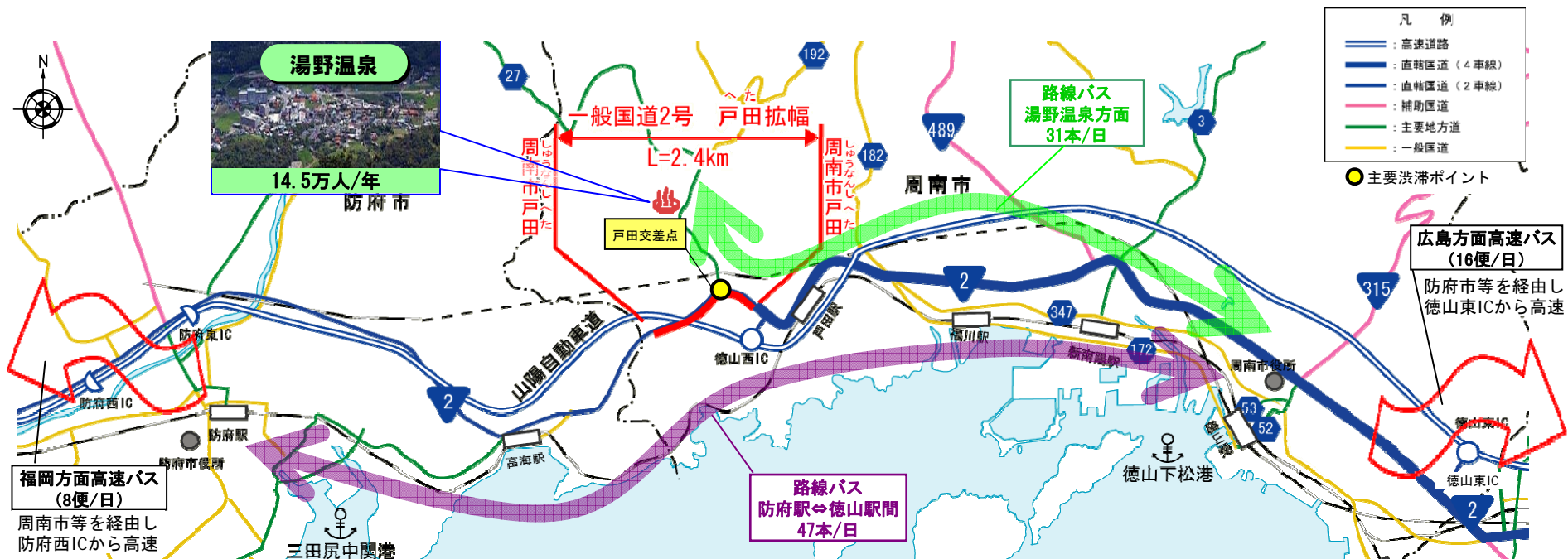
資料 / H17~H20交通事故統合データベース

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅

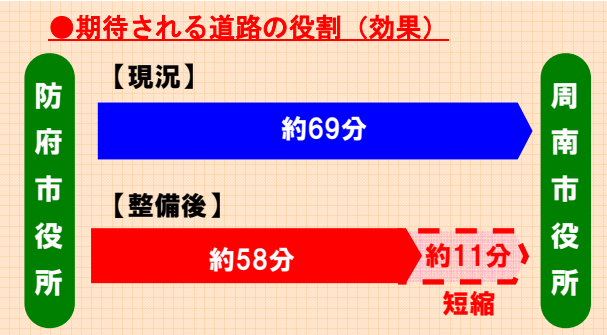
課題③ 円滑なモビリティの確保

- ・周南市と防府市間の通勤・通学流動が多く、両市を結ぶ路線バスの便数も多い。
- ・主要観光地である湯野温泉への円滑なモビリティが期待される。



路線バス (事業区間通過)

通勤時間帯	運行便数
7:00 ~ 8:00	8
17:00 ~ 19:00	13



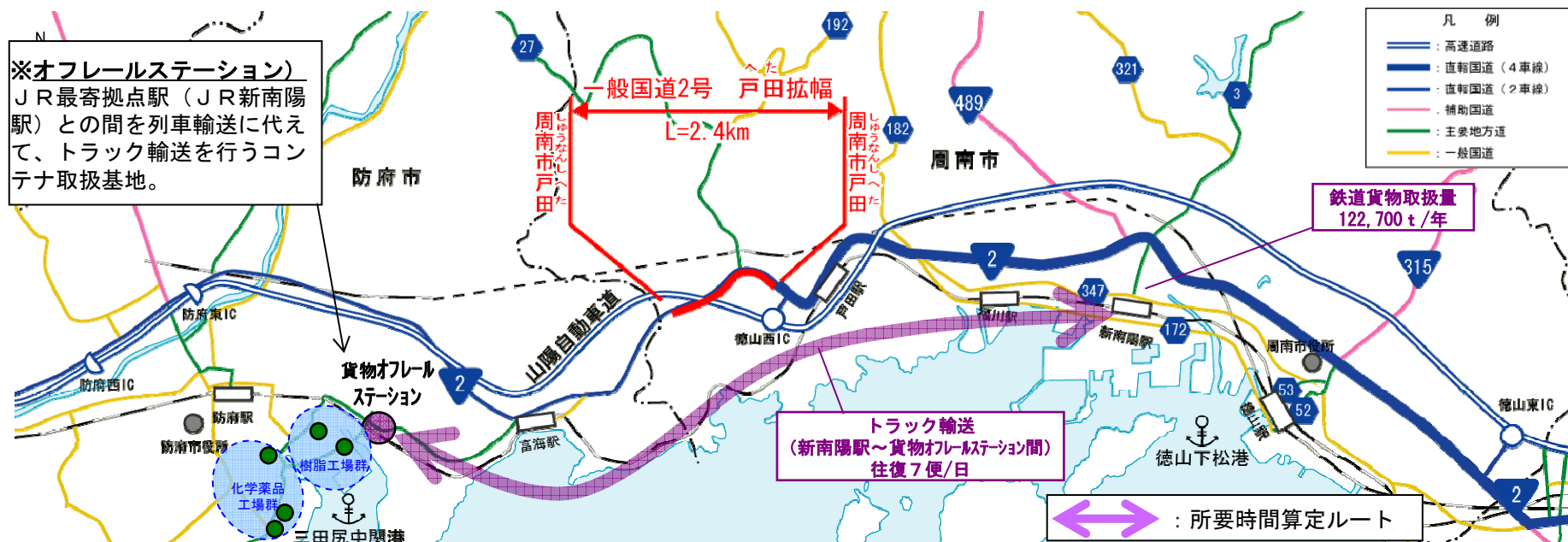
※防府市役所～周南市役所間の所要時間
 ※現況所要時間はH17道路交通センサス平日混雑時旅行速度にH18.7渋滞長調査結果の通過時間を反映して算出
 整備後所要時間は戸田拡幅V=60km/hとして算出

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅

課題④ 物流ネットワークの形成

- ・防府市臨海部には、多様な企業が集積。
- ・戸田拡幅の整備により、港湾やJR貨物駅へのアクセス性が向上し、物流の効率化が期待される。

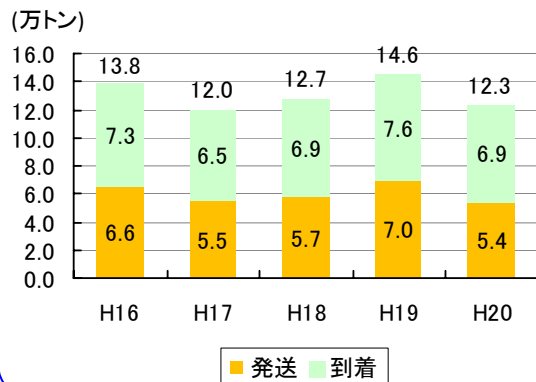


徳山下松港 搬出・搬入量



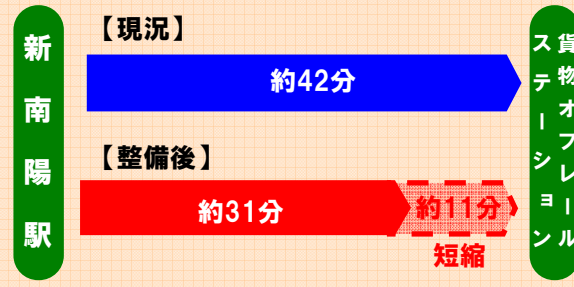
資料/港湾統計(陸上出入貨物調査)

新南陽駅の貨物取扱量の推移



資料/JR貨物関西支社

●期待される道路の役割(効果)



※防府市役所～周南市役所間の所要時間
※現況所要時間はH17道路交通センサス平日混雑時旅行速度にH18.7渋滞長調査結果の通過時間を反映して算出
整備後所要時間は戸田拡幅V=60km/hとして算出

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 戸田拡幅

課題⑤ 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

- ・山陽自動車道(徳山西IC~防府東IC)が通行止めになる場合、通過交通が国道2号を迂回路として利用する。
- ・戸田拡幅の整備により、山陽自動車道のリダンダンシーが確保される。

◆山陽自動車道が通行止めになった場合



通行止めを考慮した効果(試算した参考値)

■山陽自動車道(徳山西IC~防府東IC)の通行止め日数

0.88日/年

[H12~H21の10ヶ年の平均値]

■山陽自動車道(徳山西IC~防府東IC)が通行止めとなった場合、戸田拡幅整備により短縮される走行時間等を計測

■通行止め時に発生する効果

0.0080億円/年

■50年間の単純合計

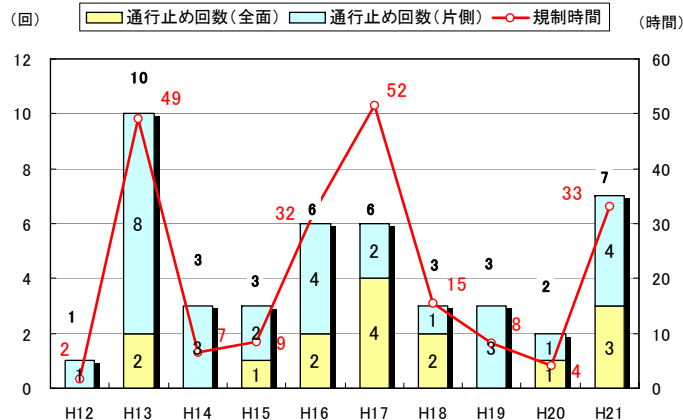
0.38億円

■基準年における現在価値

0.16億円※

※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

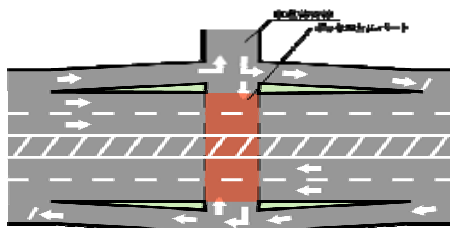
山陽自動車道(徳山西IC~防府東IC)の通行止め実績



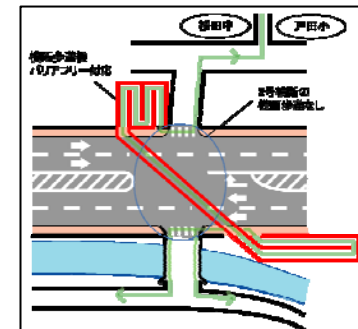
山陽自動車道(徳山東IC~徳山西IC)では、年平均4.4回、約21時間の通行止めが発生

4. コスト増額に関する資料

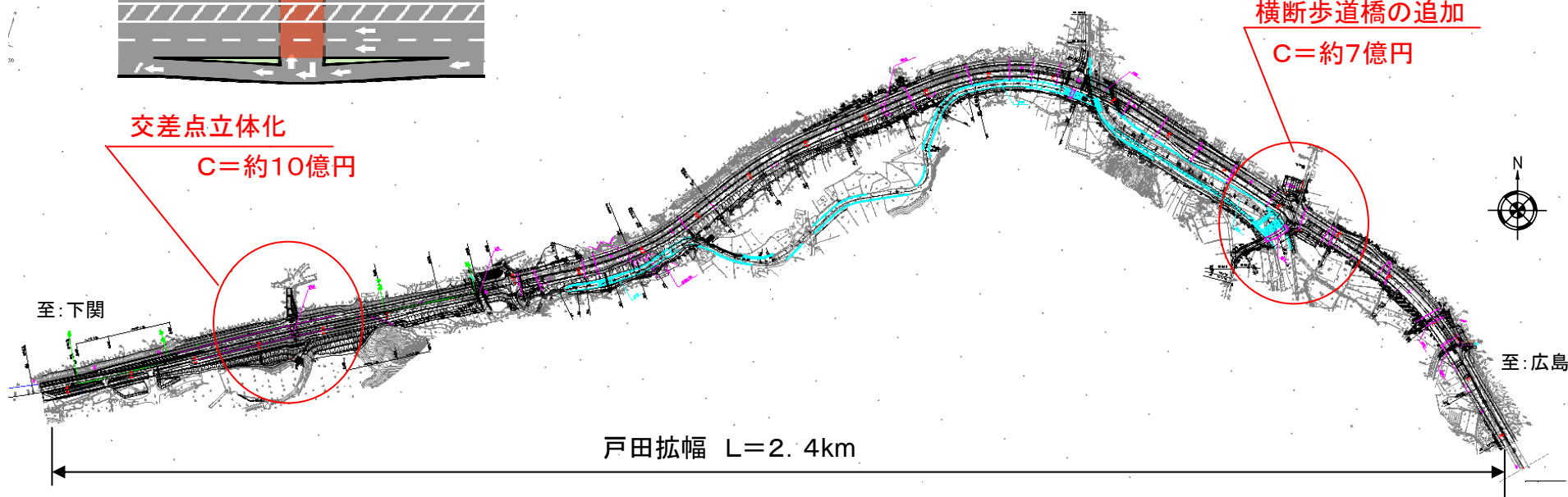
当初事業費:53億円
変更事業費:81億円
増額:28億円



交差点立体化
C=約10億円



横断歩道橋の追加
C=約7億円

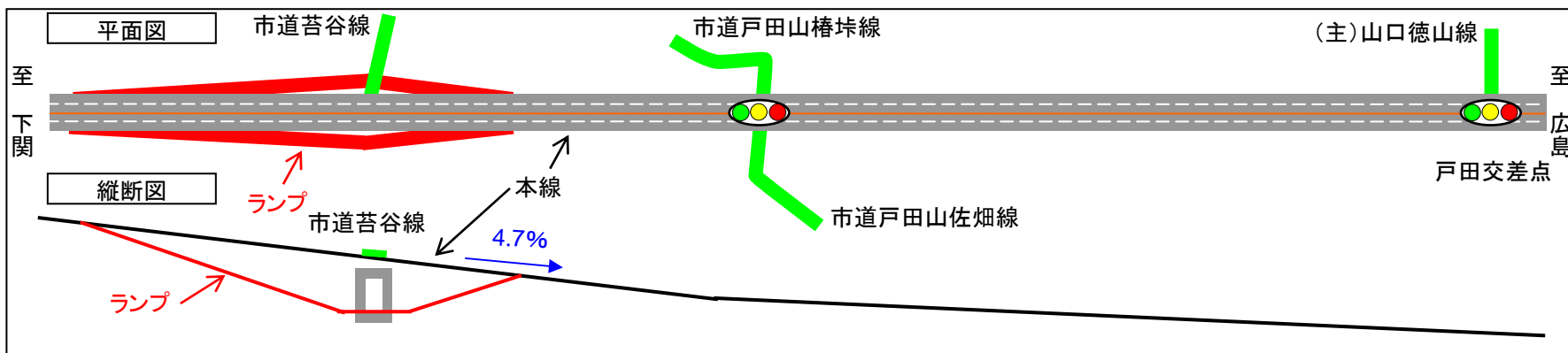


○その他

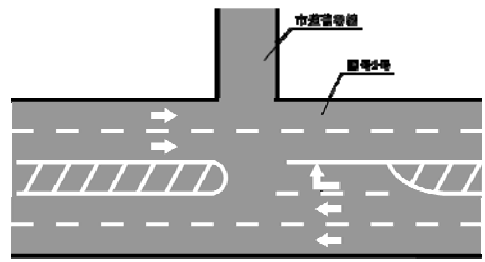
- ・法面对策工の追加 約3億円
- ・地盤改良の追加 約2億円
- ・土質の変更 約4億円 等

・交差点立体化に伴う事業費の増加

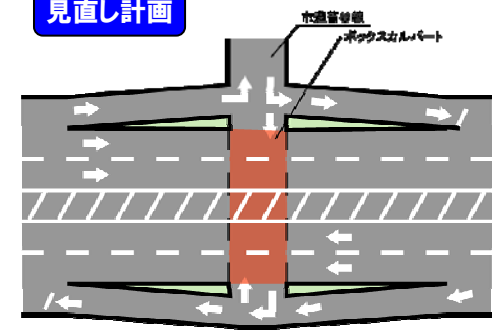
交差点の立体化に伴う増額【約10億円】



当初計画



見直し計画

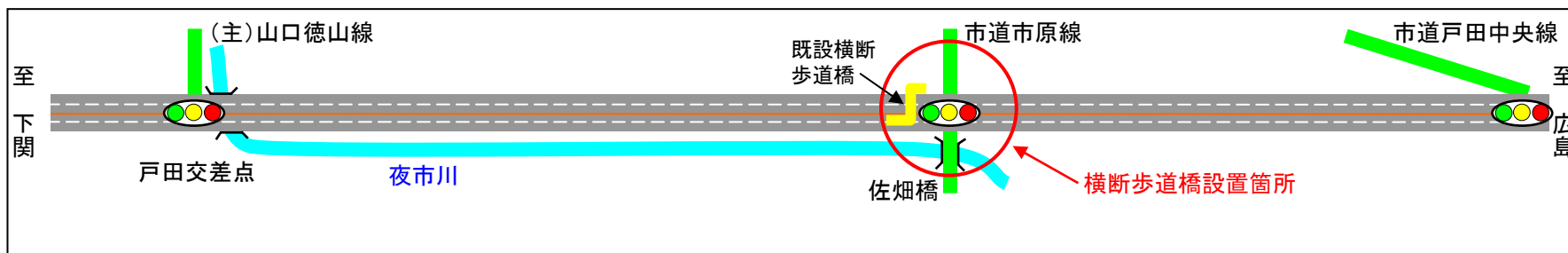


【見直し計画】

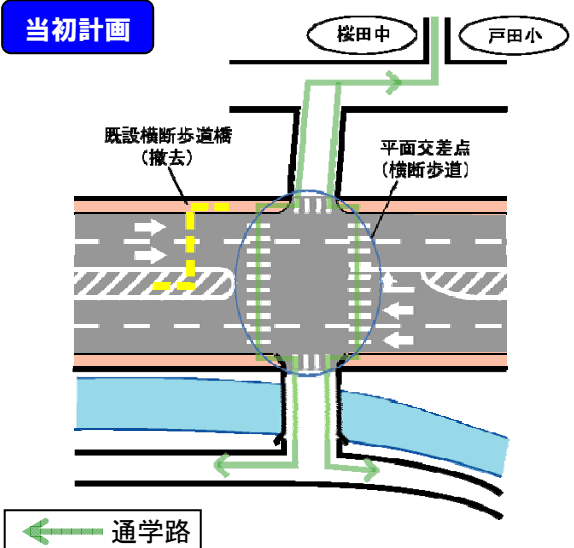
- ・地域住民から『4車線となると市道から安全に出入りすることができないため、信号機を設置して欲しい。』と要望。
- ・縦断勾配が急な区間(i=4.7%)であり、信号交差点とするための緩勾配 (i=2.5%以下L=40m以上)区間の確保が困難なため、平面交差点から立体交差点に計画を見直し。

・横断歩道橋の設置に伴う事業費の増加

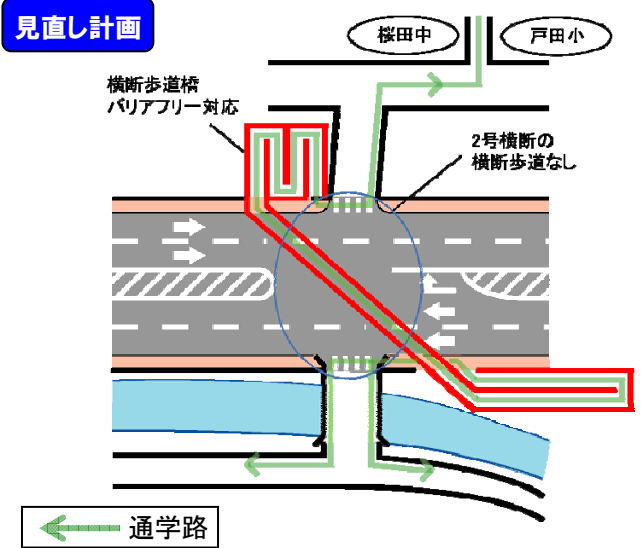
横断歩道橋設置に伴う増額【約7億円】



当初計画



見直し計画

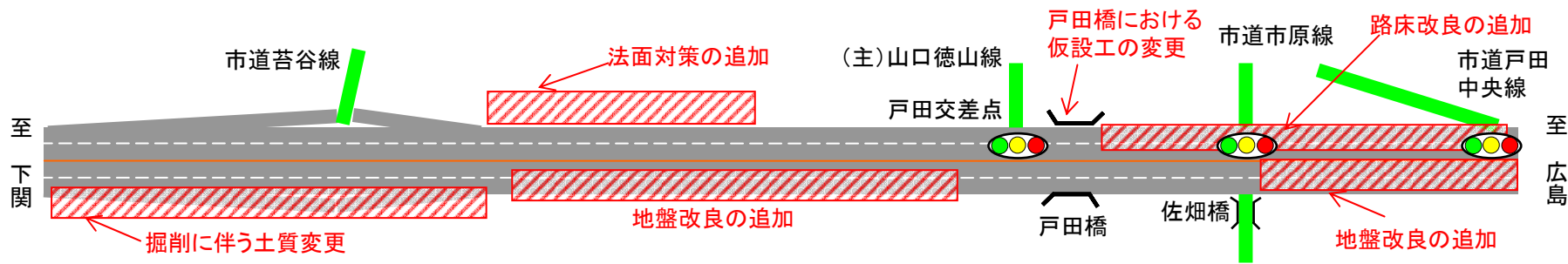


【見直し計画】

- ・地域住民から『今までと同様に安全な横断ができるように、横断歩道と横断歩道橋を設置して欲しい。』と要望。
- ・関係機関、地域住民との協議の結果、横断歩道橋を設置する計画に見直し。

4. コスト増額に関する資料

・現地状況の変化による事業費の増加



法面対策の追加に伴う増額【約3億円】

法面崩壊状況

法面対策工の追加

法枠工、鉄筋挿入工による対策

地盤改良の追加に伴う増額【約2億円】

盛土区間

- 掘削に伴う土質変更による増額【約4億円】
 - ・現地の地質状況の変化(砂質土・軟岩→軟岩・中硬岩・硬岩)
 - ・法枠工の追加
- 路床改良に伴う増額【約1億円】
 - ・既設道路側の路床改良を追加
- 戸田橋における仮設工の変更【約1億円】
 - ・当初オープン掘削により施工を予定していたが、隣接する民地への影響が懸念されたことから、締切工法に変更

合計：約28億円

5. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	93	32
事業費	80	18
維持管理費	14	14
便益額 (B)	126	126
走行時間短縮便益	121	121
走行経費減少便益	2.8	2.8
交通事故減少便益	2.7	2.7
費用便益比	1.4	4.0

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

◆道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果 [約3.0千トン/年のCO2削減] 【1.75億円】※
- ②円滑なモビリティの確保 [周南市役所～防府市役所間の所要時間短縮約11分]
- ③物流効率化の支援 [新南陽駅～防府貨物駅(オフレールステーション)間の所要時間短縮約11分]
- ④交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保 【0.16億円】※

※【 】内は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	総便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考①(3便益)	37,500～43,900台/日	約81億円	93億円	126億円	1.4 (4.0)
参考②(その他の道路の役割を考慮)	37,500～43,900台/日	約81億円	93億円	126億円 + α	—

※基準年：H22年

6. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1)事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇交通量は増加傾向であり、渋滞や交通事故が発生している。
- ◇戸田拡幅区間の現道は2車線であり、経済活動や物流活動に支障をきたしている。

2)事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)=1.4(事業全体)=4.0(残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境への影響を考慮した効果 [約3.0千トン/年のCO2削減] 【1.75億円】※
 - ②円滑なモビリティの確保 [周南市役所～防府市役所間の所要時間短縮約11分]
 - ③物流効率化の支援 [新南陽駅～防府貨物駅(オフレールステーション)間の所要時間短縮約11分]
 - ④交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保 【0.16億円】※

※【 】内は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

3)事業の進捗状況

- ◇平成21年度末現在で、事業進捗率は55%である。

②事業の進捗見込み

- ◇現在、工事を行っており、平成23年度供用予定。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇今後の事業実施にあたっては、効率的な事業推進に努める。

2. 県への意見照会結果

【山口県】

- 一般国道2号戸田拡幅の「対応方針(原案)」案に対して、異存ありません。
- 引き続き、早期供用に向け計画的に事業を進めていただきたい。



【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により状況を勘案すれば、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業実施にあたっては、効率的に事業を進め、平成23年度の早期供用を目指す。

◆前回評価時との比較

	新規評価時 (平成15年度)	今回評価時 (平成22年度)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=2.4km	L=2.4km	—
計画交通量	47,200台/日	37,500~43,900台/日	・交通需要推計の見直し(H20)による計画交通量の見直し
総事業費	約53億円	約81億円	・交差点立体化、横断歩道橋の追加、軟弱地盤対策の追加、切土掘削の土質区分変更等による事業費増加
総費用 (C)	54億円	93億円	・基準年の変更(H15基準からH22基準) ・「費用便益分析マニュアル」改定(H20)等による変更 ・交差点立体化、横断歩道橋の追加、軟弱地盤対策の追加、切土掘削の土質区分変更等による事業費増加
総便益 (B)	144億円	126億円	・基準年の変更(H15基準からH22基準) ・交通需要推計の見直し(H20)による計画交通量の見直し ・「費用便益分析マニュアル」改定(H20)等による変更
費用対効果 (B/C)	2.7	1.4	・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道2号 戸田拡幅

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 戸田拡幅
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比(B/C)=1.4 (経済的純現在価値(B-C)=33億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.9%) 残事業：費用便益比(B/C)=4.0 (経済的純現在価値(B-C)=95億円、経済的内部収益率(EIRR)=28.1%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠		
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 <input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する <input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	区間b(当該区間/並行区間)について：(国道2号 戸田拡幅区間(周南市大字戸田~周南市大字戸田)) 渋滞損失時間(整備無)：12,245千人・時間/年 渋滞損失削減時間：564千人・時間/年 (12,245千人・時間/年⇒11,681千人・時間/年)	
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 <input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	対象港湾：徳山下松港(特定重要港湾) 対象：防府市、改善見込み(防府市役所~徳山下松港：69分~58分)	
		都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	徳山駅⇄防府駅間 47本/日、徳山駅⇄湯野温泉方面 31本/日 対象駅：徳山駅(新幹線駅) 対象自治体名：防府市、改善見込み(防府市役所~徳山駅：69分~58分)

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市：周南市～防府市
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	周南市西部道の駅基本計画の支援
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	山口県地域防災計画における第1次緊急輸送道路に位置付け
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	第一次緊急輸送道路である山陽自動車道の代替路線として機能
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	評価対象区間：便益算定対象範囲 CO2排出削減量：約3.0千t/年（整備なし：1,308.9千t/年⇒整備あり：1,305.9千t/年・・・約0.2%削減）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 NOx排出削減量：約23.5t/年（整備なし：6,190.9t/年⇒整備あり：6,167.4t/年・・・約0.4%削減）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 SPM排出削減量：1.6t/年（整備なし：494.0t/年⇒整備あり：492.4t/年・・・約0.3%削減）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「道路の中期計画（中国地方版）（H21.8）」「みらいビジョン中国21"2009"（H21.8）」に位置付けあり
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	戸田拡幅	L=2.4km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
37,500~43,900	4	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	78億円	33億円	111億円
うち残事業分	19億円	33億円	52億円
基準年における 現在価値 (C)	80億円	14億円	93億円
うち残事業分	18億円	14億円	32億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成24年度			
単年便益 (初年便益)	5.7億円	0.12億円	0.14億円	5.9億円
基準年における 現在価値 (B)	121億円	2.8億円	2.7億円	126億円
うち残事業分	121億円	2.8億円	2.7億円	126億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.4
経済的純現在価値 (B-C)	33億円
経済的内部収益率 (EIRR)	5.9%
費用便益比 (残事業)	4.0
経済的純現在価値 (残事業)	95億円
経済的内部収益率 (残事業)	28.1%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	37,500~43,900	±10%	2.9~5.0
事業費	19億円	±10%	3.8~4.2
事業期間	1年	±20%	3.9~4.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名：戸田拡幅（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 【2.4km】	交通量 ^{※1}	[台/日]	39,000	40,700	
	走行時間 ^{※2}	[分]	5	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	36.17	23.14	
国道376号 【22.6km】	交通量	[台/日]	4,400	4,000	
	走行時間	[分]	32	32	
	走行時間費用	[億円/年]	24.01	21.30	
	山陽道 【42.4km】	交通量	[台/日]	31,700	31,200
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	161.78	159.50
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 【928.7km】	走行時間費用	[億円/年]	2,074.18	2,086.07	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【996.1km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,296.14	2,290.01	6.13

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

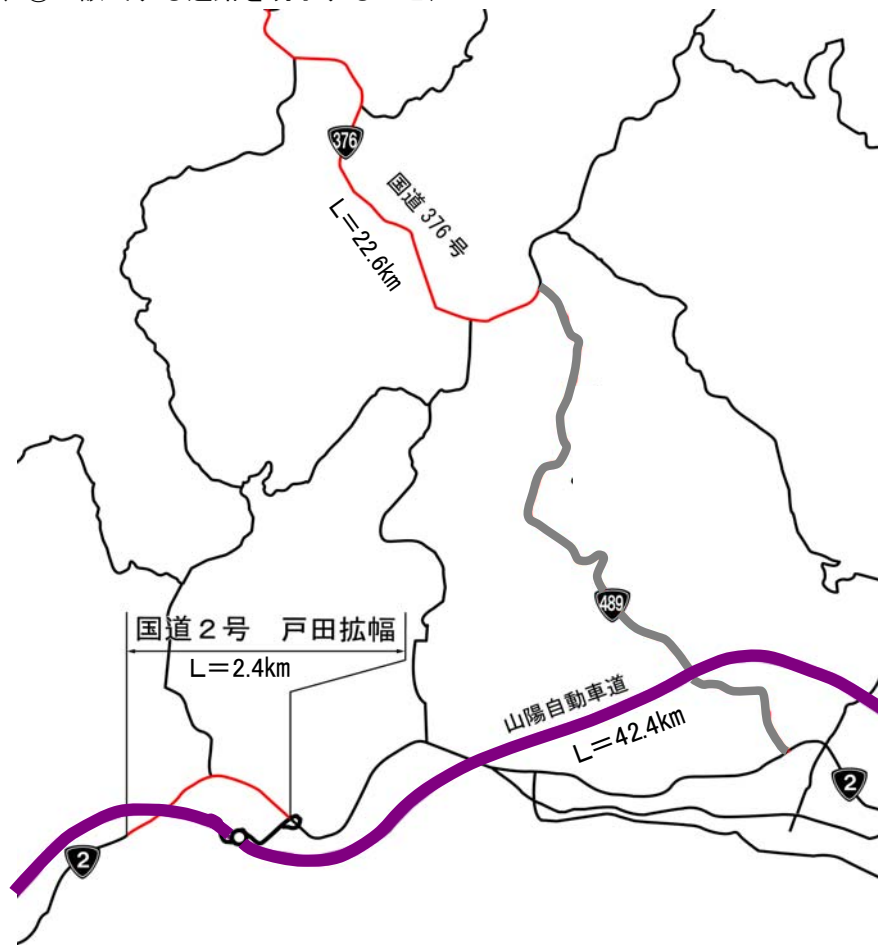
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：戸田拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 【2.4km】	交通量 ^{※1}	[台/日]	39,000	40,700	
	走行時間 ^{※2}	[分]	5	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	36.17	23.14	
国道376号 【22.6km】	交通量	[台/日]	4,400	4,000	
	走行時間	[分]	32	32	
	走行時間費用	[億円/年]	24.01	21.30	
	山陽道 【42.4km】	交通量	[台/日]	31,700	31,200
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	161.78	159.50
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 【928.7km】	走行時間費用	[億円/年]	2,074.18	2,086.07	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【996.1km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,296.14	2,290.01	6.13

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

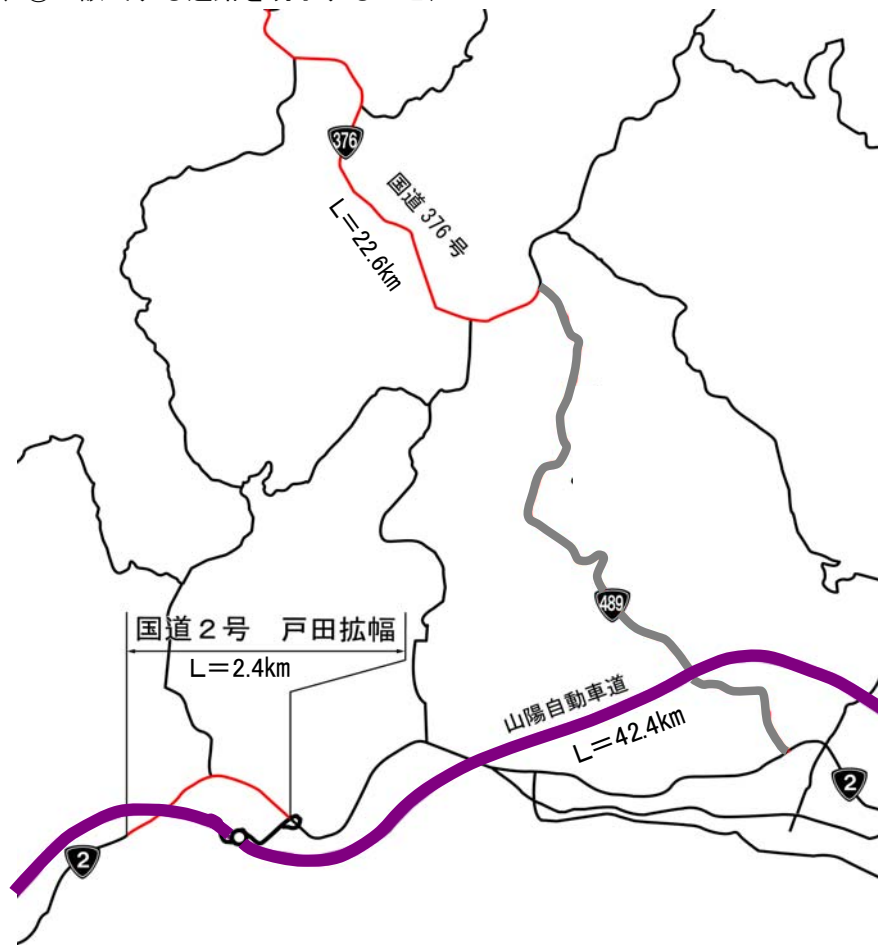
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：戸田拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成22年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみを推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 戸田拡幅(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.29		2.4	0.70
-9年目	H 15	1.3159	95.4	0.95	1.20		
-8年目	H 16	1.2653	94.4	0.73	0.89		
-7年目	H 17	1.2167	93.2	0.48	0.57		
-6年目	H 18	1.1699	92.5	1.69	1.95		
-5年目	H 19	1.1249	91.7	6.27	7.02		
-4年目	H 20	1.0816	91.3	13.83	14.96		
-3年目	H 21	1.0400	91.3	19.28	20.05		
-2年目	H 22	1.0000	91.3	15.87	15.87		
-1年目	H 23	0.9615	91.3	18.94	18.21		
供用開始年次	H 24	0.9246	91.3			0.67	0.62
1年目	H 25	0.8890	91.3			0.67	0.59
2年目	H 26	0.8548	91.3			0.67	0.57
3年目	H 27	0.8219	91.3			0.67	0.55
4年目	H 28	0.7903	91.3			0.67	0.53
5年目	H 29	0.7599	91.3			0.67	0.51
6年目	H 30	0.7307	91.3			0.67	0.49
7年目	H 31	0.7026	91.3			0.67	0.47
8年目	H 32	0.6756	91.3			0.67	0.45
9年目	H 33	0.6496	91.3			0.67	0.43
10年目	H 34	0.6246	91.3			0.67	0.42
11年目	H 35	0.6006	91.3			0.67	0.40
12年目	H 36	0.5775	91.3			0.67	0.38
13年目	H 37	0.5553	91.3			0.67	0.37
14年目	H 38	0.5339	91.3			0.67	0.36
15年目	H 39	0.5134	91.3			0.67	0.34
16年目	H 40	0.4936	91.3			0.67	0.33
17年目	H 41	0.4746	91.3			0.67	0.32
18年目	H 42	0.4564	91.3			0.67	0.30
19年目	H 43	0.4388	91.3			0.67	0.29
20年目	H 44	0.4220	91.3			0.67	0.28
21年目	H 45	0.4057	91.3			0.67	0.27
22年目	H 46	0.3901	91.3			0.67	0.26
23年目	H 47	0.3751	91.3			0.67	0.25
24年目	H 48	0.3607	91.3			0.67	0.24
25年目	H 49	0.3468	91.3			0.67	0.23
26年目	H 50	0.3335	91.3			0.67	0.22
27年目	H 51	0.3207	91.3			0.67	0.21
28年目	H 52	0.3083	91.3			0.67	0.21
29年目	H 53	0.2965	91.3			0.67	0.20
30年目	H 54	0.2851	91.3			0.67	0.19
31年目	H 55	0.2741	91.3			0.67	0.18
32年目	H 56	0.2636	91.3			0.67	0.18
33年目	H 57	0.2534	91.3			0.67	0.17
34年目	H 58	0.2437	91.3			0.67	0.16
35年目	H 59	0.2343	91.3			0.67	0.16
36年目	H 60	0.2253	91.3			0.67	0.15
37年目	H 61	0.2166	91.3			0.67	0.14
38年目	H 62	0.2083	91.3			0.67	0.14
39年目	H 63	0.2003	91.3			0.67	0.13
40年目	H 64	0.1926	91.3			0.67	0.13
41年目	H 65	0.1852	91.3			0.67	0.12
42年目	H 66	0.1780	91.3			0.67	0.12
43年目	H 67	0.1712	91.3			0.67	0.11
44年目	H 68	0.1646	91.3			0.67	0.11
45年目	H 69	0.1583	91.3			0.67	0.11
46年目	H 70	0.1522	91.3			0.67	0.10
47年目	H 71	0.1463	91.3			0.67	0.10
48年目	H 72	0.1407	91.3			0.67	0.09
49年目	H 73	0.1353	91.3	-7.91	-1.07	0.67	0.09
合計				70.13	79.66	33.33	13.77
単純事業費計				78.04		33.33	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 戸田拡幅(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.29	2.4	0.70	
-1年目	H 23	0.9615	91.3	18.94	18.21		
供用開始年次	H 24	0.9246	91.3			0.67	0.62
1年目	H 25	0.8890	91.3			0.67	0.59
2年目	H 26	0.8548	91.3			0.67	0.57
3年目	H 27	0.8219	91.3			0.67	0.55
4年目	H 28	0.7903	91.3			0.67	0.53
5年目	H 29	0.7599	91.3			0.67	0.51
6年目	H 30	0.7307	91.3			0.67	0.49
7年目	H 31	0.7026	91.3			0.67	0.47
8年目	H 32	0.6756	91.3			0.67	0.45
9年目	H 33	0.6496	91.3			0.67	0.43
10年目	H 34	0.6246	91.3			0.67	0.42
11年目	H 35	0.6006	91.3			0.67	0.40
12年目	H 36	0.5775	91.3			0.67	0.38
13年目	H 37	0.5553	91.3			0.67	0.37
14年目	H 38	0.5339	91.3			0.67	0.36
15年目	H 39	0.5134	91.3			0.67	0.34
16年目	H 40	0.4936	91.3			0.67	0.33
17年目	H 41	0.4746	91.3			0.67	0.32
18年目	H 42	0.4564	91.3			0.67	0.30
19年目	H 43	0.4388	91.3			0.67	0.29
20年目	H 44	0.4220	91.3			0.67	0.28
21年目	H 45	0.4057	91.3			0.67	0.27
22年目	H 46	0.3901	91.3			0.67	0.26
23年目	H 47	0.3751	91.3			0.67	0.25
24年目	H 48	0.3607	91.3			0.67	0.24
25年目	H 49	0.3468	91.3			0.67	0.23
26年目	H 50	0.3335	91.3			0.67	0.22
27年目	H 51	0.3207	91.3			0.67	0.21
28年目	H 52	0.3083	91.3			0.67	0.21
29年目	H 53	0.2965	91.3			0.67	0.20
30年目	H 54	0.2851	91.3			0.67	0.19
31年目	H 55	0.2741	91.3			0.67	0.18
32年目	H 56	0.2636	91.3			0.67	0.18
33年目	H 57	0.2534	91.3			0.67	0.17
34年目	H 58	0.2437	91.3			0.67	0.16
35年目	H 59	0.2343	91.3			0.67	0.16
36年目	H 60	0.2253	91.3			0.67	0.15
37年目	H 61	0.2166	91.3			0.67	0.14
38年目	H 62	0.2083	91.3			0.67	0.14
39年目	H 63	0.2003	91.3			0.67	0.13
40年目	H 64	0.1926	91.3			0.67	0.13
41年目	H 65	0.1852	91.3			0.67	0.12
42年目	H 66	0.1780	91.3			0.67	0.12
43年目	H 67	0.1712	91.3			0.67	0.11
44年目	H 68	0.1646	91.3			0.67	0.11
45年目	H 69	0.1583	91.3			0.67	0.11
46年目	H 70	0.1522	91.3			0.67	0.10
47年目	H 71	0.1463	91.3			0.67	0.10
48年目	H 72	0.1407	91.3			0.67	0.09
49年目	H 73	0.1353	91.3	-1.28	-0.17	0.67	0.09
合計				17.66	18.04	33.33	13.77
単純事業費計				18.94		33.33	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名: 戸田拡幅(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	H 24	0.99628	0.99488	1.01357	0.99869	0.9246	91.3	2.71	0.56	2.39	5.66	5.24	0.02	0.01	0.09	0.12	0.11	0.14	0.12	5.92	5.48
1年目	H 25	0.99627	0.99486	1.01339	0.99869	0.8890	91.3	2.70	0.56	2.42	5.68	5.05	0.02	0.01	0.09	0.12	0.11	0.13	0.12	5.94	5.28
2年目	H 26	0.99626	0.99483	1.01321	0.99868	0.8548	91.3	2.69	0.55	2.45	5.70	4.87	0.02	0.01	0.09	0.13	0.11	0.13	0.12	5.96	5.10
3年目	H 27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99868	0.8219	91.3	2.68	0.55	2.49	5.72	4.70	0.02	0.01	0.09	0.13	0.10	0.13	0.11	5.98	4.92
4年目	H 28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99868	0.7903	91.3	2.67	0.55	2.52	5.74	4.54	0.02	0.01	0.09	0.13	0.10	0.13	0.11	6.00	4.74
5年目	H 29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99868	0.7599	91.3	2.66	0.55	2.55	5.76	4.38	0.02	0.01	0.10	0.13	0.10	0.13	0.10	6.02	4.58
6年目	H 30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99868	0.7307	91.3	2.65	0.54	2.58	5.78	4.22	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.10	6.04	4.41
7年目	H 31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7026	91.3	2.64	0.54	2.61	5.80	4.07	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.06	4.26
8年目	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.6756	91.3	2.63	0.54	2.64	5.82	3.93	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.08	4.11
9年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6496	91.3	2.63	0.53	2.69	5.85	3.80	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.11	3.97
10年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6246	91.3	2.62	0.53	2.73	5.88	3.67	0.02	0.01	0.10	0.13	0.08	0.13	0.08	6.15	3.84
11年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6006	91.3	2.61	0.53	2.77	5.91	3.55	0.02	0.01	0.10	0.14	0.08	0.13	0.08	6.18	3.71
12年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.5775	91.3	2.60	0.52	2.81	5.94	3.43	0.02	0.01	0.11	0.14	0.08	0.13	0.08	6.21	3.59
13年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5553	91.3	2.60	0.52	2.85	5.97	3.32	0.02	0.01	0.11	0.14	0.08	0.13	0.07	6.24	3.47
14年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5339	91.3	2.59	0.52	2.90	6.00	3.20	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.28	3.35
15年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5134	91.3	2.58	0.52	2.94	6.03	3.10	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.31	3.24
16年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.4936	91.3	2.57	0.51	2.98	6.06	2.99	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.34	3.13
17年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4746	91.3	2.57	0.51	3.02	6.10	2.89	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.06	6.37	3.03
18年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4564	91.3	2.56	0.51	3.06	6.13	2.80	0.02	0.01	0.12	0.15	0.07	0.13	0.06	6.41	2.92
19年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4388	91.3	2.54	0.50	3.07	6.11	2.68	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.06	6.39	2.80
20年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4220	91.3	2.52	0.50	3.07	6.09	2.57	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.06	6.37	2.69
21年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4057	91.3	2.50	0.50	3.07	6.07	2.46	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.05	6.35	2.57
22年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.3901	91.3	2.48	0.49	3.08	6.05	2.36	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.05	6.32	2.47
23年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3751	91.3	2.46	0.49	3.08	6.03	2.26	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.05	6.30	2.36
24年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3607	91.3	2.44	0.48	3.08	6.01	2.17	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.05	6.28	2.27
25年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3468	91.3	2.42	0.48	3.09	5.99	2.08	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.26	2.17
26年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3335	91.3	2.40	0.48	3.09	5.97	1.99	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.24	2.08
27年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3207	91.3	2.38	0.47	3.10	5.95	1.91	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.22	2.00
28年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3083	91.3	2.36	0.47	3.10	5.93	1.83	0.02	0.01	0.12	0.15	0.04	0.13	0.04	6.20	1.91
29年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.2965	91.3	2.34	0.47	3.10	5.91	1.75	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.13	0.04	6.18	1.83
30年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2851	91.3	2.32	0.46	3.11	5.89	1.68	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.04	6.16	1.76
31年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2741	91.3	2.30	0.46	3.11	5.87	1.61	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.14	1.68
32年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2636	91.3	2.28	0.46	3.11	5.85	1.54	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.12	1.61
33年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2534	91.3	2.26	0.45	3.12	5.83	1.48	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.10	1.55
34年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2437	91.3	2.24	0.45	3.12	5.81	1.42	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.08	1.48
35年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2343	91.3	2.22	0.45	3.12	5.79	1.36	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.06	1.42
36年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2253	91.3	2.20	0.44	3.13	5.77	1.30	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.04	1.36
37年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2166	91.3	2.18	0.44	3.13	5.75	1.25	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.02	1.30
38年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2083	91.3	2.16	0.44	3.13	5.74	1.19	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	6.00	1.25
39年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2003	91.3	2.15	0.43	3.14	5.72	1.14	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.98	1.20
40年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.1926	91.3	2.13	0.43	3.14	5.70	1.10	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.96	1.15
41年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1852	91.3	2.11	0.43	3.15	5.68	1.05	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.94	1.10
42年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1780	91.3	2.09	0.42	3.15	5.66	1.01	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.92	1.05
43年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1712	91.3	2.07	0.42	3.15	5.64	0.97	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.90	1.01
44年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1646	91.3	2.05	0.41	3.16	5.62	0.92	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.87	0.97
45年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1583	91.3	2.03	0.41	3.16	5.60	0.89	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.85	0.93
46年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1522	91.3	2.01	0.41	3.16	5.58	0.85	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.83	0.89
47年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1463	91.3	1.99	0.40	3.17	5.56	0.81	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.81	0.85
48年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1407	91.3	1.97	0.40	3.17	5.54	0.78	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.79	0.82
49年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1353	91.3	1.95	0.40	3.17	5.52	0.75	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.01	5.77	0.78
合計								119.53	24.09	148.13	291.75	120.90	1.07	0.38	5.56	7.02	2.83	6.30	2.69	305.07	126.41

便益の現在価値算定表

箇所名：戸田拡幅(残事業)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	H 24	0.99628	0.99488	1.01357	0.99869	0.9246	91.3	2.71	0.56	2.39	5.66	5.24	0.02	0.01	0.09	0.12	0.11	0.14	0.12	5.92	5.48
1年目	H 25	0.99627	0.99486	1.01339	0.99869	0.8890	91.3	2.70	0.56	2.42	5.68	5.05	0.02	0.01	0.09	0.12	0.11	0.13	0.12	5.94	5.28
2年目	H 26	0.99626	0.99483	1.01321	0.99868	0.8548	91.3	2.69	0.55	2.45	5.70	4.87	0.02	0.01	0.09	0.13	0.11	0.13	0.12	5.96	5.10
3年目	H 27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99868	0.8219	91.3	2.68	0.55	2.49	5.72	4.70	0.02	0.01	0.09	0.13	0.10	0.13	0.11	5.98	4.92
4年目	H 28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99868	0.7903	91.3	2.67	0.55	2.52	5.74	4.54	0.02	0.01	0.09	0.13	0.10	0.13	0.11	6.00	4.74
5年目	H 29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99868	0.7599	91.3	2.66	0.55	2.55	5.76	4.38	0.02	0.01	0.10	0.13	0.10	0.13	0.10	6.02	4.58
6年目	H 30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99868	0.7307	91.3	2.65	0.54	2.58	5.78	4.22	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.10	6.04	4.41
7年目	H 31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7026	91.3	2.64	0.54	2.61	5.80	4.07	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.06	4.26
8年目	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.6756	91.3	2.63	0.54	2.64	5.82	3.93	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.08	4.11
9年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6496	91.3	2.63	0.53	2.69	5.85	3.80	0.02	0.01	0.10	0.13	0.09	0.13	0.09	6.11	3.97
10年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6246	91.3	2.62	0.53	2.73	5.88	3.67	0.02	0.01	0.10	0.13	0.08	0.13	0.08	6.15	3.84
11年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6006	91.3	2.61	0.53	2.77	5.91	3.55	0.02	0.01	0.10	0.14	0.08	0.13	0.08	6.18	3.71
12年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.5775	91.3	2.60	0.52	2.81	5.94	3.43	0.02	0.01	0.11	0.14	0.08	0.13	0.08	6.21	3.59
13年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5553	91.3	2.60	0.52	2.85	5.97	3.32	0.02	0.01	0.11	0.14	0.08	0.13	0.07	6.24	3.47
14年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5339	91.3	2.59	0.52	2.90	6.00	3.20	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.28	3.35
15年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5134	91.3	2.58	0.52	2.94	6.03	3.10	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.31	3.24
16年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.4936	91.3	2.57	0.51	2.98	6.06	2.99	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.07	6.34	3.13
17年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4746	91.3	2.57	0.51	3.02	6.10	2.89	0.02	0.01	0.11	0.14	0.07	0.13	0.06	6.37	3.03
18年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4564	91.3	2.56	0.51	3.06	6.13	2.80	0.02	0.01	0.12	0.15	0.07	0.13	0.06	6.41	2.92
19年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4388	91.3	2.54	0.50	3.07	6.11	2.68	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.06	6.39	2.80
20年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4220	91.3	2.52	0.50	3.07	6.09	2.57	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.06	6.37	2.69
21年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4057	91.3	2.50	0.50	3.07	6.07	2.46	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.05	6.35	2.57
22年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.3901	91.3	2.48	0.49	3.08	6.05	2.36	0.02	0.01	0.12	0.15	0.06	0.13	0.05	6.32	2.47
23年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3751	91.3	2.46	0.49	3.08	6.03	2.26	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.05	6.30	2.36
24年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3607	91.3	2.44	0.48	3.08	6.01	2.17	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.05	6.28	2.27
25年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3468	91.3	2.42	0.48	3.09	5.99	2.08	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.26	2.17
26年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3335	91.3	2.40	0.48	3.09	5.97	1.99	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.24	2.08
27年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3207	91.3	2.38	0.47	3.10	5.95	1.91	0.02	0.01	0.12	0.15	0.05	0.13	0.04	6.22	2.00
28年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3083	91.3	2.36	0.47	3.10	5.93	1.83	0.02	0.01	0.12	0.15	0.04	0.13	0.04	6.20	1.91
29年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.2965	91.3	2.34	0.47	3.10	5.91	1.75	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.13	0.04	6.18	1.83
30年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2851	91.3	2.32	0.46	3.11	5.89	1.68	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.04	6.16	1.76
31年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2741	91.3	2.30	0.46	3.11	5.87	1.61	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.14	1.68
32年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2636	91.3	2.28	0.46	3.11	5.85	1.54	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.12	1.61
33年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2534	91.3	2.26	0.45	3.12	5.83	1.48	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.10	1.55
34年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2437	91.3	2.24	0.45	3.12	5.81	1.42	0.02	0.01	0.12	0.14	0.04	0.12	0.03	6.08	1.48
35年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2343	91.3	2.22	0.45	3.12	5.79	1.36	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.06	1.42
36年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2253	91.3	2.20	0.44	3.13	5.77	1.30	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.04	1.36
37年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2166	91.3	2.18	0.44	3.13	5.75	1.25	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.03	6.02	1.30
38年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2083	91.3	2.16	0.44	3.13	5.74	1.19	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	6.00	1.25
39年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2003	91.3	2.15	0.43	3.14	5.72	1.14	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.98	1.20
40年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.1926	91.3	2.13	0.43	3.14	5.70	1.10	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.96	1.15
41年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1852	91.3	2.11	0.43	3.15	5.68	1.05	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.94	1.10
42年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1780	91.3	2.09	0.42	3.15	5.66	1.01	0.02	0.01	0.12	0.14	0.03	0.12	0.02	5.92	1.05
43年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1712	91.3	2.07	0.42	3.15	5.64	0.97	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.90	1.01
44年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1646	91.3	2.05	0.41	3.16	5.62	0.92	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.87	0.97
45年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1583	91.3	2.03	0.41	3.16	5.60	0.89	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.85	0.93
46年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1522	91.3	2.01	0.41	3.16	5.58	0.85	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.83	0.89
47年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1463	91.3	1.99	0.40	3.17	5.56	0.81	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.81	0.85
48年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1407	91.3	1.97	0.40	3.17	5.54	0.78	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.02	5.79	0.82
49年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1353	91.3	1.95	0.40	3.17	5.52	0.75	0.02	0.01	0.12	0.14	0.02	0.11	0.01	5.77	0.78
合計								119.53	24.09	148.13	291.75	120.90	1.07	0.38	5.56	7.02	2.83	6.30	2.69	305.07	126.41

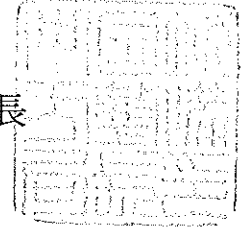
一般国道2号 戸田拡幅

〔山口県への意見照会と回答〕

国中整企画第54号
国中整港計第1001号
平成23年1月13日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年1月27日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年1月20日(木)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 戸田拡幅	継続	

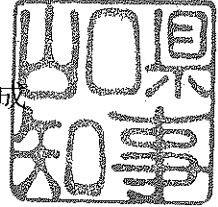
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。



平 22 技術管理 第 616 号
平成 23 年 (2011 年) 1 月 20 日

中国地方整備局長 様

山口県知事 二井 関成

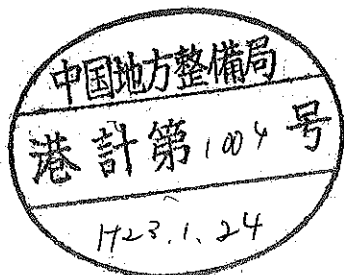


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成 23 年 1 月 13 日付け国中整企画第 54 号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

事業名	一般国道 2 号 戸田拡幅
「対応方針(原案)」案 に対する意見	異存なし
【意見】 引き続き、早期供用に向け計画的に事業を進めていただきたい。	



技術管理課企画班
主任 田中 英樹
〒753-8501 山口市滝町 1-1
TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669
E-mail : tanaka.hideki@pref.yamaguchi.lg.jp